

令和3年8月6日（金）



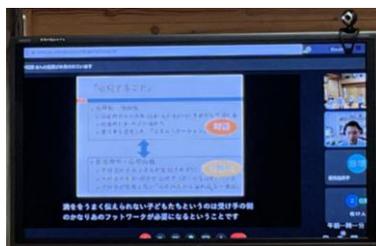
# 地域支援センターさくらぎセミナー

テーマ「発達障がいのある児童生徒の成長に伴う発達課題」

今年度のセミナーは、講師に宮城教育大学の植木田潤先生をお迎えしてリモートで講演会を開催しました。保育園、小・中・高等学校、特別支援学校から多くの参加がありました。

## 講演

植木田先生には、発達障がいのある児童生徒の情緒的な安定を基盤とした「主体的な自己」形成を支える方法についてお話いただきました。“おとな”との安心・安全な対人関係が基盤となり、「遊び（ヒトとの信頼の絆をベースとした安全・安心感の確立）」から「学び（適応力の向上、「自立」の準備段階）」、さらに「働く（自己理解と自己受容、「自己実現」の段階）」へと生涯続く自分のアップデートという成長につながることを教えていただきました。特に、発達障がいのある子どもにとって、情緒的な安定が健やかな発達に不可欠であり、他者への基本的な信頼関係を起点としながら主体的な自己を育むことが生きる力の土台作りであり、支援のゴールであることを学ぶことができました。植木田先生、ありがとうございました。



【講演会の様子】

—参加者の感想より—

- ・いつもかかわっている子どもたちの姿を思い出しながら講演を拝聴しました。子どもたちへのかかわり方を見直して、夏休みが明けたときに実践していこうと思います。
- ・字幕が表示されて、講演している内容を音声と文字で確かめられて、とてもよかったです。
- ・子どもたちの困り感の様子をわかりやすい言葉でまとめて頂き、理解が深まりました。
- ・情緒の安定がいかに大切かが分かった。そのために、私たちが子供から発信されたものを受け止め、返していけるように向き合っていきたいと感じた。
- ・目で見えているものだけでなく、生徒の想いを見落とすことなく支援していきたいです。

育てたい“4つ”の力 ～“自立—共生”に必要な4つの土台～

- 1 基礎的な体力・健康（身体面の発達）
- 2 不安・不満に挫けない（情緒面の発達）
- 3 学び・考える（認知面の発達）
- 4 意志・意欲を発揮する（自己性の発達）

ご参加いただき、ありがとうございました。

